

パワー浜松ロータリークラブ週報 2013年12月3日号

パワー浜松ロータリークラブ(2013-14年度会長:松本好司)

〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 オークラアクトシティホテル浜松 4307号室

Tel:053-452-0800 Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp

創立:2002年10月22日 認証伝達式:2003年4月29日 スポンサークラブ:浜松中RC

本年度テーマ:Rotary Mind、Rotary Wayを確認しよう

～心で感じて・考えて・活動しよう～



ENGAGE
ROTARY



CHANGE
LIVES

第513回例会12月3日(火)AM7:30~8:30オークラアクトシティホテル浜松4F平安の間

- 司会:鈴木和行、池田龍郎 ■点鐘:松本好司
- ロータリーソング:希望のエネルギー
- ゲスト:米山記念奨学生 蔡遣さん、
青少年交換留学生 マリーヌさん、通訳 伊藤里奈子様
- 議事:IM担当委員会 『IMを主管するってどういうこと?』



新入会員
山本浩之さん

出席報告

本日出席率
61/79名
77.21%
前々回出席率
84.8%

会長挨拶

今月は家族月間です。クリスマス&望年会ではロータリーの事を家族にもっと分かっていたらいいと思っています。又、家族に日々の感謝をぜひ伝えて下さい。

今月の「ロータリーの友」より紹介致します。皆さんポールハリスの家があるのをご存知でしょうか。一度手放した建物ですがポールアンドジーンハリスホーム財団が2005年に買い戻したそうで、RIはこの建物を博物館や歴史的建造物として運営する資金としてそのプロジェクトに500万ドルの目標額を決めたそうです。RIは修復を約束しましたが、このプロジェクト支援に賛同の方はぜひRIのサイトにアクセスしてみてください。

SAKUJI作戦についても掲載があり、我々のクラブもその趣旨に賛同し先日登録を致しました。職業経験豊かな方をロータリアンとしてお誘いをする事を皆さんも常に意識して行動をお願いします。大企業を定年退職し浜松に戻られた方などに職業経験豊富で私も仕事柄その様な方をたくさん存じているので声を掛けていきたいと思っています。

本日はIMについての卓話で、今年度の目標の一つで「全員で活動しよう」とあります。IMでも全員で活動し皆さん一丸となって来年3月のIMを迎えたいと思います。

幹事報告

- ・浜松ハーモニーRCよりメンバーが製作に携わったとの事で、浜松おもてなし帳が届いています。
- ・12月8日(日)次期LTM会議がグランドホテルにて開催され原田道子さんが出席されます。宜しくお願ひ致します。
- ・次週例会は副幹事総務担当で定款細則について卓話をいただきます。ご出席お願ひ致します。

委員会報告

- 前幹事:青山さん**
クラブ事業報告書ができましたので、皆様ご一読ください。
- 親睦部会:渡辺部会長**
21日のクリスマス例会では、会員の皆様一人一人の賞品を持ってきてもらう形になりますので、次回例会が事務局まで届けてください。
- ゴルフ同好会:廣瀬会長**
第36回青空例会を12月1日に開催しました。優勝はnet75.6で竜谷さんでした。次回の青空例会もたくさんの参加をお願いします。
- 会員増強維持部会:林部会長**
本日12月2日、山本浩之さん(推薦者:諸星圭吾さん)が入会されましたので、入会式を執り行います。
- 新入会員:山本浩之さんの挨拶**
数年前まで、掛川グリーンRCに所属しておりました、その時はパワー浜松は急成長している大きなクラブと聞いておりましたので、大変緊張してきたのですが、非常に和やかな雰囲気でおりました。ロータリアンの勉強をしていきますので、ご指導とご鞭撻をお願いします。

奨学生、交換留学生スピーチ

米山記念奨学生:蔡遣さん

米山奨学生として、後4ヶ月しかなくなりました。皆さんともっと交流する機会が欲しくて、私は先月から毎週の例会に出席することにしました。朝五時半に起きて、明け方にバスでこちらにきています。最近段々寒くなって、浜松のからっ風が身にしみみます。しかし、私の故郷はもっと寒いんです。そこには、寒さに耐えるある植物があります。マイナス四十度でも凍傷がない樹です。名前を白楊樹と言います。中国の西北地方にごく普通に見られる樹木ですが、実は平凡なものではないです。

これは努めて高いところを目指して、まっすぐな幹、まっすぐな枝を持つ樹木です。この幹は、通常は一丈ほどの高さで(1丈=3.3M)、まるで人工的に手が増えられるように、一丈より下には枝分かれが全くありません。このすべての枝は、一律に上へ向かい、しかもびったりと密集して、これも人工的に手が増えられているように見えます。この広くて大きい葉も一枚一枚上へ向かい、斜めに生えるものはなく、下に垂れるものがないの言うまでもありません。これは、中国の西北地方の風雪の抑圧の下で、屈強にまっすぐに立ち続けている樹木なのです。たとえこの太さが茶碗くらいのものであっても、上へ向かって伸びようと努力し、高さは丈を超え二丈、そして高くそびえ、どんな困難にも屈せず、西北の風に対抗しています。

この樹はただの樹ではないと思います。この素朴さ、厳肅さ、堅固で屈服しない強さが、少なくとも中国の西北地方の農民を象徴しています。白楊樹は平凡な樹木ではなく、これは西北地方に極めて普通に見られるもので、重視されておらず、中国の西北地方の農民と似ています。私は、西北地方の農民である自分の両親を誇りにしています。一口に中国人と言っても、色んな中国人がいます。大都市で人を騙したり、狡いことをする中国人もいますけど、西北地方には白楊樹のような素晴らしい中国人もいます。



交換留学生:マリーヌさん

学校ではダンスクラブに入部しました。

今月は京都・奈良・大阪旅行に行きました。神社仏閣を見て、着物を着ることもできました。大阪では、たこ焼き、お好み焼きを食べて、グリコを見ることができました。USJは本当に楽しかったです。また、ホストファミリーが箱根に連れていってくれて、天気が良くて、富士山も見ることができました。

第513回例会12月3日(火)議題 IM担当委員会 『IMを主管するってどういうこと』

鷲津IM実行委員長

来年3月29日開催の静岡第7分区インターシティミーティング。パワーとしては8年ぶり2回目の主管としての開催です。8年前のことを忘れてしまった方から、今回IMIに初めて参加する方まで「IM」に対する共有のイメージを持っていただこうと企画いたしました。本日は8年前のIMを主管した当時の会長・IM実行委員長に当時を振り返っていただきお話をいただきます。



高木パストIM実行委員長

まずは8年前の当クラブが主催した当時の開催の様子をDVDでご覧いただき、続いて当時のガバナー補佐としてIMのトップを務めた秋山雅弘さんよりビデオレターをいただいておりますのでご紹介いたします。



金山パスト会長

すばらしいメッセージをくれた秋山さんがいないことは残念なことです。先ほどのDVDの中でも多くのメンバーが去っていきました。つらいことでした。

「IMを主管する・・・」という話は秋山さんのビデオレターでいってくれていますので、少し角度を変えてお話しします。最近知ったことですが、昔、お相撲さんが出征するときに日の丸に書いた言葉がありました。「力」という言葉だったそうです。その「力」という言葉をクラブ名にしたわがクラブ、その命名者が去ってしまったことは残念に思います。RCの中にはいろんな方がいます。小澤さんは「ロータリアンらしく」と頻りに言っていますが、若いメンバーなどそうできない人もいます。こういうIMを勉強の場としてとらえ、IMを通して成長することが大切なことだと思います。

つい最近京都で、ある文化人と会ってきました。すごく良いことを言っていました。その方は文化人たちを集めて「真剣に遊ぼうよ」と提唱しています。私はRCはそれでいいんじゃないかと考えています。固い部分もあり、そしてやわらかい部分もあるが真剣にということでしょう。

帰りに河井寛次郎という陶芸家の美術館に寄ってきました。そこにまた良い言葉がありました。「仕事をすることは非常に苦しいこと。苦しいことは仕事なのだ。苦しいことは仕事に任せて、さあ我らは楽しく遊ぼう」と。皆それぞれ帰れば仕事が残って大変です。RCを大変な目を見てやるという事ではなく、RCの活動・・・今回のIMを通じて楽しさを共有することで、本当のパワーが出てくるのだと思います。

宮本武蔵の言葉に「不強不弱」というものがある。一生懸命やることも大切。しかし手を抜くことも大切。人付き合いそしてRCもいろんな人がいて成り立つと思います。「不強不弱」という言葉を良くかみしめて行動していきます。先日の中日新聞に大江健三郎氏の言葉がのっています。「希望は持ちすぎず、持たないのもいけない」同じだなと感じます。

本年3月に名古屋で個展を開いた。「今でしょ」という流行語がありますが私は25年前から「今大事」という作品を書き続けています。その作品をある方にご購入をいただいた。後にその購入者は余命わずかな方だと伺い愕然としました。

IMを通じて一致団結し成長をいただくことを期待しています。



高木一浩パスト実行委員長

前回開催時の次第を配布いたしました。式典、講演会、懇親会という流れで行いました。先日11月30日に静岡第6分区のIMIに参加しましたが同様な流れです。

講演会の講師は長崎出身の当時大学2年生の草野史興さん。長崎出身の被爆三世のお話は実に感動的で他クラブからも良い評価をいただきました。

鷲津IM実行委員長

全体事業として、IMIに関しては通常の組織と別の実行委員会を編成し行動いたします。配布資料の組織図と職務分掌をご一読願います。

前回同様、当日は式典、講演会、懇親会という流れで進めてまいります。今回は講演会と懇親会での合唱が二つの柱になっています。

講演会の講師は越塚隼人さんに依頼しております。スキー場で頸椎骨折。家族・生徒・上司など周囲の方の温かいサポートにより「生きる勇氣」を持ち猛烈なりハビリを経て奇跡的に回復していらっしゃいます。皆様にとっても感ずるものがある講演だと考えています。

3月29日(土)午後からのスケジュールは空けておいて下さい。

近藤雅彦IM副委員長

皆さんで作り上げるという意味では懇親会の冒頭に皆さんで合唱するオリジナルソング披露が懇親会のメイン行事です。先月練習をしておりますが、有志が歌うと思っっている方がいらっしゃるようですが全員で歌いますのでお間違いの無いようにお願いします。毎回の例会と個別の練習会の成果として全員ではもれる状況まで持っていきたいと思っておりますので皆さんのご協力をお願いします。

原田道子アシスタントガバナー

IMIはコミュニケーション。そもそもポールハリスも寂しかったからRCを作りました。

一人ではやりたいことも中々できません。分区内の他クラブ・他ロータリアンと一緒に介する機会は1年に1回しかないわけですから、ぜひ沢山の皆さんに参加いただきますようお願いいたします。

